

新型コロナウイルスワクチン 追加接種（3回目接種）等について

2021.11.30 保）ワクチン接種担当部

1 追加接種の実施に向けた取組の現状

①接種券発送

- ・初回発送：11月19日（金）約16,000通発送（主に医療従事者）
- ・以降、毎週金曜日に順次発送

②接種体制

- ・初回接種（1・2回目接種）と同様、医療機関での個別接種を中心に集団接種で補完する体制を継続
- ・12月1日（水）から市内の医療機関において主に医療従事者への追加接種を開始予定。集団接種会場については各区会場（区民センター）を令和4年2月から設置予定。その他の会場については検討中

2 今後の取組・対応

○令和3年11月16日付厚労省通知（事務連絡）及び第9回自治体説明会により追加接種に関する新たな内容が示されたところ。これを踏まえ追加接種を実施。

■新たに示された主な内容

- ①接種期間：令和3年12月1日～令和4年9月30日
- ②対象者：2回目完了者のうち18歳以上の者
- ③接種間隔：2回目完了から原則8か月以上（自治体判断での前倒し不可）
- ④使用ワクチン：初回接種の使用ワクチンに関わらず mRNA ワクチンを使用
※当面は薬事承認されているファイザーのみ使用
- ⑤ワクチン供給：2回目から8か月後に追加接種が行われることを前提に配分
令和4年2月・3月分はファイザー・モデルナ併せて確保
- ⑥財源措置：令和3年12月以降も従前同様の措置（全額国庫負担）を継続

3 接種スケジュール

年月	新たに接種時期を迎える対象者
令和3年12月	主に医療従事者
令和4年2月	主に高齢者
4月	主に基礎疾患・優先接種対象者の方
5月以降	主に64歳以下の接種対象者

4 その他

①小児（5歳以上11歳以下）への1・2回接種について

○厚労省から、早ければ令和4年2月から小児への1・2回目接種が開始となる可能性があることから自治体において準備を進めるよう通知があったところ

○札幌市においても小児への接種開始に向けて準備を進めていく。

②新成人向け優先接種（1・2回接種）について

○来年1月の成人の日を迎えるにあたり、これから1回目の接種を検討している新成人を対象に、集団接種会場（札幌市医師会館）に優先接種日を設定

【1回目接種】12月4日（土）、5日（日） 【2回目接種】12月25日（土）、26日（日）

経口治療薬の処方体制の整備

資料 3

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

経口治療薬に関する国の考え

- 国民の治療へのアクセスの向上、重症化予防を期待
- 国内で年内に20万回分、さらに年度内に40万回分が確保される予定
※薬事承認された場合



国からの要請

- 地域の薬剤師会などと連携・協力を図り、医薬品の提供体制を整備すること
- 「対応薬局」をあらかじめリスト化し、経口薬を配備する体制の構築を準備すること

札幌市の対応

- 札幌薬剤師会などの関係団体と連携して、経口薬の提供体制の構築を準備



<今後の方向性>

- ★国としては、今後感染力が2倍となった場合にも、対応できるよう医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進、治療薬の確保を進め、国民の命と健康を損なう事態の回避に取り組む考え
- ★札幌市としても、第6波に向けては、これまで第5波までに整備してきた医療提供体制を活かしつつ、外来診療体制の強化や治療薬の処方体制を整備していく

●「さっぽろ PASS-CODE 事業」の試行実施について

このたび、札幌市では、ウェブアプリ「さっぽろ PASS-CODE」利用し、スマートフォン上で、飲食店やイベント等において新型コロナウイルスワクチンの接種履歴を提示できる「さっぽろ PASS-CODE 事業」を12月6日から試行実施いたします。

この事業の実施を通じて、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策と社会経済活動の両立に向けて、ウェブアプリがどのような形で貢献できるかを検証し、今後の本格的な運用を検討してまいります。

1 名称

さっぽろ PASS-CODE 事業（試行）

2 事業期間

2021年12月6日（月）～2022年3月31日（木）

3 背景・目的

2021年11月22日（月）、凸版印刷株式会社と札幌市が「さっぽろ PASS-CODE 事業（試行）」に関する協定を締結し、新型コロナウイルスの感染防止対策と社会経済活動の両立を目的に、同社提供のウェブアプリ「PASS-CODE®」を飲食店やイベント等で活用する事業の試行に、協働で取り組むことを定めた。

今回の試行実施では、国のワクチン・検査パッケージ制度における接種履歴提示手段としての活用のほか、日常生活・社会経済活動において、市民・事業者にも活用してもらうことなどを想定し、新型コロナウイルスの感染防止対策と社会経済活動の両立にウェブアプリがどう貢献できるのかを検証した上で、今後の本格的な運用を検討する。

4 事業概要

(1) 利用者について

① 対象者

札幌市が近隣11市町村と共に形成する、さっぽろ連携中枢都市圏域内*の住民、同圏域内への来訪者。ただし、スマートフォンを所持しており、ワクチンを2回接種された方に限る。対象から外れる方は、接種済証や検査結果通知書を提示するなど、他の手段をご利用いただくことを想定。

※札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町

② 登録開始日時

12月6日（月）10:00～

③ 登録・利用方法

別紙1参照

(2) 事業者について

① 対象者

さっぽろ圏域内に店舗等がある事業者で、「さっぽろ PASS-CODE」で接種履歴を提示した利用者に特典等を提供する事業者

② 登録開始日時

12月1日（水）9:00～

- ③ 登録・利用方法
別紙2・3参照

(3) コールセンターの開設

- ① 開設日
12月1日(水)
- ② 電話番号
011-330-8517
- ③ 受付時間
平日9:00~17:00
- ④ 受付内容
利用者・事業者からの登録・利用方法等の相談

さっぽろPASS-CODE事業 ウェブアプリの運用イメージについて

※12月6日（月）
10時から開始

利用者の登録方法

STEP 1 アプリ登録

- ・メールアドレス、氏名、携帯番号等の入力
- ・パスワードの設定
- ・顔写真の登録（スマートフォン撮影）



登録用QR

※QRコードは
(株)デンソーウェーブの登録商標です。

STEP 2

ワクチン登録、認証

以下の2つをスマートフォン撮影し、アップロード

本人確認書類



接種済証など



STEP 3

店舗等で認証、提示

画面提示する場合

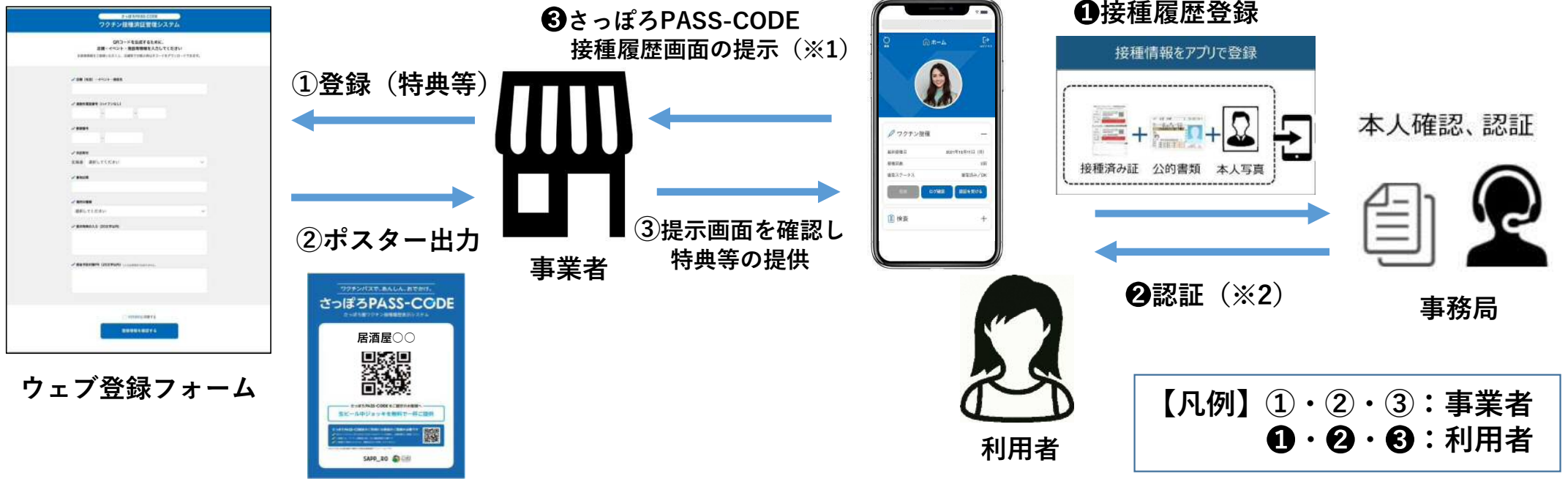


ポスターのQRを読み込む場合



日常の社会経済活動における活用も想定

飲食店等において、「さっぽろPASS-CODE」でワクチン接種履歴を提示した方に、割引特典を提供するような活用を想定し、ポスター出力機能を用意



※1：ワクチン接種済証や国・他自治体が運用する接種履歴表示システム、検査結果通知書等を提示した方にも柔軟に対応いただくよう事業者に依頼
※2：認証まで数日かかる場合があります

ウェブ登録フォームとポスターイメージ

※12月1日（水）
9時から開始

- ・事業者は、ウェブ登録フォームから登録（<http://pass-code.entry.jp/sapporo/>）
- ・店舗名・所在地・連絡先・特典等・感染対策PRなどを入力。登録後、ポスター出力
- ・利用者に特典等の提供を実施していることを周知するため、ポスター掲示

さっぽろPASS-CODE
ワクチン接種履歴管理システム

QRコードを生成するために、
店舗・イベント・施設等情報を入力してください
※店舗情報を入力しないと、店舗でのQRコードをダウンロードできません。

✓ 店舗（来店）・イベント・施設名
居酒屋〇〇

✓ 郵便番号
〒

✓ 市区町村
北海道 選択してください

✓ 業種/店舗
選択してください

✓ 特典の提供
選択してください

利用者に提供する
登録情報を確認する

ウェブ登録フォーム



ポスター

利用者がQRコードを読み込むと、ワクチン接種履歴が表示される（QRを読まずに表示することも可能）

